
変わらないから。

柚乃 詩音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

変わらないから。

【Nコード】

N3490R

【作者名】

袖乃 詩音

【あらすじ】

1000文字足らずの短いお話。

転校しちゃう友人を思い書きました。

僕は、詩音。君は、友人です。

別れの季節ですね。

言葉で友達だよ、というのはなんだか恥ずかしいです。

なので文にしたけれど、渡せそうにありません。

なのでこの場を借りて、大好きな友人にささげます。

初めて会ったのは部活の体験入部の日。初めてたんじょうびが同じだって知ったのは、最初の大会のとき。誕生日にプレゼント交換して、二年になって、同じクラスになった。

僕と君

一つ、一つ思い出が増えて、時が流れると同時に、一日一日別れが近づいていることを気づいたのはつい最近。

気づくのと一緒に少し不安になった。

月日は流れる。

人間は万能じゃない。

思い出には思い出が上に積まれていって、下のものは見えづらくなる。

忘れてしまうことに不安を覚えた。

それでも事実はなくならない。

ここで一緒に過ごしたのは、事実だよ。失われることは、ないんだ。

それを割り切れるのは何時になるだろう。

部活の皆がいて、クラスの皆がいて、僕がいて、君がいて。それが僕の世界だったから。一つでも変われば違う物になっちゃうのかな？

でも、そうしたら君の世界は大きく変わるね。いや、広くなるのかな。僕らの世界に君はずっといるんだから。僕らと同じ世界にいたってことは、なくならないんだから。

先輩が言っていた言葉、覚えてる？

「未来を作るのは過去」

そういう先輩は凄くかっこよかったな。

それなら、僕の、皆の、君の未来は今創ってるんだよね。そうだと……いいと思わない？

次に桜が咲くのは、間に似合わないかな。であったのは桜の季節だったから、始まりは桜の季節だったから、桜は僕にとって「始まり」なんだ。

だからさ、引越したら桜の木、見上げて。そこが始まりだから。僕らの友情、遠く離れるからって終わらせないよ。

だから「始まり」

遠くに君という、僕という友達がいるっていう世界の「始まり」だよ。

「ねエ、ずっと友達だよ。」

離れても、

年をとっても、

忘れちゃっても、

友達だってことは変わらない」

だからさ、新しい学校では僕のこと忘れちゃつぐらい楽しく過ごしてよ。

友達だってことは変わらないんだから。

僕が覚えておくからさ。

次、君にあつたら僕が思い出させてあげるから。

約束、だよ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3490r/>

変わらないから。

2011年10月8日13時52分発行